



## 2019年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月12日

上場会社名 株式会社鉄人化計画 上場取引所 東  
 コード番号 2404 URL http://www.tetsujin.ne.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡崎 太輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 秋庭 克彦 (TEL) 03-3793-5117  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年8月期第2四半期の連結業績(2018年9月1日~2019年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	3,602	△3.2	184	113.9	169	146.5	180	—
2018年8月期第2四半期	3,721	△7.8	86	1,308.1	68	141.1	△135	—

(注) 包括利益 2019年8月期第2四半期 180百万円(—%) 2018年8月期第2四半期 △132百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	23.22	—
2018年8月期第2四半期	△21.84	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	5,295	558	10.5
2018年8月期	5,542	376	6.8

(参考) 自己資本 2019年8月期第2四半期 557百万円 2018年8月期 376百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,036	△4.3	200	69.6	160	—	136	—	17.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年8月期2Q	8,232,200株	2018年8月期	8,232,200株
② 期末自己株式数	2019年8月期2Q	476,600株	2018年8月期	476,600株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年8月期2Q	7,755,600株	2018年8月期2Q	6,210,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、穏やかな回復基調が続くものの、暖冬やインフルエンザ流行などの季節要因、軟調な株式市場、米中貿易摩擦の顕在化、インバウンド需要の減少など、先行きの景況感が不透明の中で推移を致しました。一方、カラオケ業界におきましては、カラオケ需要は底堅く存在するものの、チェーンオペレーターの店舗拡大策により、大手チェーンオペレーターを中心に首都圏の出店競争が激化するなど、カラオケ業界を含めた余暇市場の変化に対応をした成長戦略が求められております。

このような状況の中、当社グループは、期初の経営方針に沿って、主にカラオケ事業の再成長を目指し、業界における差別化されたポジションを確立すべく独自の施策を取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、「カラオケの鉄人」のリブランディングを実施し、独自の選曲リモコン「カラ鉄ナビ」の全面リニューアルする等、ブランド浸透に取り組んでまいりました。今後も、新しいブランドコンセプトに基づきシステムコンテンツ開発、サービス見直しを推進していく方針です。さらに、貢献意欲や士気を一層高め優秀な人材の定着率向上を図るとともに、株主様を重視した経営を一層推進することを目的として、取締役及び従業員に対するストック・オプションの発行を行い、経営効率を追求した経営資源の投下策としてグアム子会社の清算決定など、計画的な経営施策を実行してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,602百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益184百万円（前年同期比113.9%増）、経常利益169百万円（前年同期比146.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益180百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失135百万円）となりました。セグメントの業績は次のとおりです。

## (カラオケルーム運営事業)

当第2四半期連結累計期間におけるカラオケルーム運営事業の売上高は3,501百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は451百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

競合各社の都心部繁華街立地への集中出店により競争が激化しておりますが、前事業年度からの厳選した出店戦略として2018年12月21日に新店舗「カラオケの鉄人 五反田西口店」をオープンいたしました。また、既存店は12月の最大商戦に向け、引き続き店舗スタッフの適正配置、店舗運営品質の維持・強化を図る店舗リニューアル・営繕の実施、売上獲得のため販売促進の各種施策の実施などを図った結果、比較可能な既存店※の当第2四半期連結累計期間における売上高の前年同期比は104.6%となりました。

※ 比較可能な既存店とは、営業開始後12ヶ月を経過して営業を営んでいる店舗で前年対比が可能なものをいいます。

## (C P事業)

当第2四半期連結累計期間におけるC P事業の売上高は73百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益は57百万円（前年同期比0.5%減）となりました。「カラオケの鉄人モバイル」サイトを中心に運営を行っておりますが、フィーチャーフォンからスマートフォンへの乗換えが進み減収・減益となっております。

## (その他)

当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は26百万円（前年同期比57.6%減）、セグメント損失は0百万円（前年同期セグメント損失1百万円）となりました。不動産賃貸業は計画通りの業績で進捗いたしました。当社100%連結子会社であるTETSUJIN USA Inc. が米国グアム準州タモン地区の「Guam Reef & Olive Spa Resort」内で運営するエンターテインメントレストラン1店舗は2018年10月に営業閉鎖をしております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比較して246百万円減少し、5,295百万円となりました。流動資産は1,878百万円となり207百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が171百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,417百万円となり38百万円減少いたしました。主な要因は、建物及び構築物をはじめとした有形固定資産が58百万円増加、無形固定資産が19百万円減少及び投資その他の資産が78百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比較して428百万円減少し、4,736百万円となりました。流動負債は1,107百万円となり234百万円減少いたしました。主な要因は、未払費用が108百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は3,629百万円となり193百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金金が200百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比較して182百万円増加し、558百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が180百万円増加したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比較して171百万円減少し、1,396百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が190百万円、減価償却実施額が106百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ8百万円増加し、155百万円となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出226百万円、有形固定資産の売却による収入30百万円及び差入保証金の回収による収入75百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ82百万円増加し、123百万円となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出が200百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ763百万円減少し、203百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月15日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。当社グループの業績は、その事業規模からカラオケルーム運営事業に大きく依存しております。当事業は、忘年会等が多く行われる12月を含む第2四半期連結会計期間と、歓送迎会等が多く行われる3月、4月を含む第3四半期連結会計期間に売上が偏重する傾向があるため、各四半期連結会計期間の業績が必ずしも通期の業績に連動するとは限りません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,608,447	1,436,643
受取手形及び売掛金	116,828	99,892
商品及び製品	2,128	507
原材料及び貯蔵品	46,624	52,635
その他	315,177	291,719
貸倒引当金	△3,084	△3,081
流動資産合計	2,086,121	1,878,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,153,921	1,217,883
工具、器具及び備品(純額)	79,644	94,292
その他(純額)	444,636	424,296
有形固定資産合計	1,678,202	1,736,473
無形固定資産		
その他	56,997	37,776
無形固定資産合計	56,997	37,776
投資その他の資産		
差入保証金	1,658,252	1,582,726
その他	65,718	63,200
貸倒引当金	△2,720	△2,691
投資その他の資産合計	1,721,250	1,643,235
固定資産合計	3,456,450	3,417,485
資産合計	5,542,572	5,295,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	127,746	106,071
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払費用	497,662	388,707
未払法人税等	41,729	38,328
資産除去債務	8,900	2,500
賞与引当金	32,115	33,387
ポイント引当金	19,609	19,611
その他	214,739	118,929
流動負債合計	1,342,502	1,107,534
固定負債		
長期借入金	3,500,000	3,300,000
資産除去債務	201,083	211,018
その他	122,148	118,259
固定負債合計	3,823,231	3,629,278
負債合計	5,165,734	4,736,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,021,609	1,021,609
資本剰余金	1,014,767	1,014,767
利益剰余金	△1,494,006	△1,313,930
自己株式	△176,550	△176,550
株主資本合計	365,820	545,895
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,017	11,157
その他の包括利益累計額合計	11,017	11,157
新株予約権	—	1,935
純資産合計	376,837	558,988
負債純資産合計	5,542,572	5,295,802

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
売上高	3,721,755	3,602,151
売上原価	3,087,908	2,884,355
売上総利益	633,846	717,795
販売費及び一般管理費	547,572	533,267
営業利益	86,274	184,528
営業外収益		
受取利息	36	11
受取設備使用料	2,031	2,031
協賛金収入	3,358	1,968
その他	6,855	4,875
営業外収益合計	12,281	8,887
営業外費用		
支払利息	22,967	20,774
支払手数料	1,000	—
その他	5,794	3,034
営業外費用合計	29,761	23,808
経常利益	68,793	169,606
特別利益		
固定資産売却益	5,000	28,835
特別利益合計	5,000	28,835
特別損失		
固定資産除却損	24	478
減損損失	—	7,642
特別損失合計	24	8,121
税金等調整前四半期純利益	73,769	190,320
法人税等	209,380	10,244
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△135,611	180,075
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△135,611	180,075

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△135,611	180,075
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,463	140
その他の包括利益合計	3,463	140
四半期包括利益	△132,147	180,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△132,147	180,215
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	73,769	190,320
減価償却費	76,000	106,105
減損損失	—	7,642
貸倒引当金の増減額(△は減少)	216	△31
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△115	1
受取利息及び受取配当金	△36	△11
支払利息及び社債利息	22,967	20,774
為替差損益(△は益)	1,263	123
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,000	△28,835
固定資産除却損	24	478
売上債権の増減額(△は増加)	23,414	17,184
たな卸資産の増減額(△は増加)	731	△4,384
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,090	△21,681
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	1,271
未払又は未収消費税等の増減額	21,952	△4,567
その他	△24,228	△86,284
小計	164,867	198,106
利息及び配当金の受取額	34	9
利息の支払額	△23,460	△21,523
法人税等の支払額	△11,733	△21,269
法人税等の還付額	17,132	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,840	155,323
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△87,943	△226,154
有形固定資産の売却による収入	5,000	30,000
無形固定資産の取得による支出	△1,300	△200
貸付けによる支出	△760	△240
貸付金の回収による収入	100	3,400
定期預金の払戻による収入	30,000	—
差入保証金の差入による支出	△5	—
差入保証金の回収による収入	13,127	75,825
その他	694	△6,197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,086	△123,566
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	200,000
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
長期借入金の返済による支出	△848,166	△200,000
社債の償還による支出	△100,000	—
リース債務の返済による支出	△18,597	△18,800
配当金の支払額	△164	△6
セール・アンド・リースバックによる収入	—	15,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△966,927	△203,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	△84
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△861,110	△171,805
現金及び現金同等物の期首残高	1,392,185	1,568,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	531,074	1,396,311

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社は当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当連結会計年度は課税所得の発生が見込まれないため、当第2四半期連結累計期間については、法人住民税均等割額年間発生見積額の4分の2に相当する金額を税金費用として計上しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	カラオケ ルーム 運営事業	CP事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,572,953	86,466	3,659,420	62,334	3,721,755	—	3,721,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,572,953	86,466	3,659,420	62,334	3,721,755	—	3,721,755
セグメント利益又は損 失(△)	364,797	57,690	422,487	△1,769	420,718	△334,444	86,274

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「音響設備販売事業」、「不動産賃貸事業」等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△334,444千円には、セグメント間取引消去294千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△334,738千円が含まれております。全社費用は主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	カラオケ ルーム 運営事業	CP事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,501,856	73,863	3,575,719	26,431	3,602,151	—	3,602,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,501,856	73,863	3,575,719	26,431	3,602,151	—	3,602,151
セグメント利益又は損 失(△)	451,411	57,386	508,798	△730	508,067	△323,539	184,528

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「音響設備販売事業」、「不動産賃貸事業」等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△323,539千円には、セグメント間取引消去18千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△323,557千円が含まれております。全社費用は主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケルーム運営事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては7,642千円であります。